

なわて民報

No.1929
2016.1.1

〔発行〕
日本共産党
四條畷市委員会
中野本町4-24
TEL/FAX
072-879-5016

四條畷市議会議員

岸田あつこ
清瀧29-1 A-201
TEL/FAX
072-803-0303

かんばら泰晴
北出町27-2
TEL/FAX
072-865-2551
072-865-4610

あけまして
おめでとう
ございます



戦争法廃止、暴走政治を
止めさせ、住民の声が届く
政治めざして、ことしも
元気でがんばりましょう。



【日本共産党四條畷市委員会】



わたなべ 結



岸田 あつこ

新年おめでとうございます。いよいよ参議院選挙の年、勝負の年を迎えるました。旧年中は、私たち日本共産党への暖かいご支援・ご支援をいただきまして、本当にありがとうございました。今年を安倍暴走政権を打倒し、命と暮らしを守ります。

り、戦争法を廃止し日本の政治に立憲主義と民主主義をとりもどす年とするために、皆さんと一緒に戦争法廃止の国民連合に力を合わせましょう。政府の実現めざし、私も全力でかけぬける決意でございました。

昨年は、いっせい地方選挙と知事選挙でお世話になりました。今、四條畷市政での一番の問題は、学校統廃合をふくむ公共施設の大合併計画（まちづくり長期計画）です。廃校予定にされている駒小、東小、南小、南中校区の住民は、今まで

も廃校に納得していません。それなのに四條畷市政は、大阪府・市の維新政治と同じように民主主義をないがしろにして、この計画を推し進めています。市政を求め、今年もがんばります。

育鵬社版教科書で国際人が育つのか

育鵬社教科書 の問題点 ～②～

侵略戦争を肯定して日本の植民地支配を美化し、平和憲法と基本的人権が確立された過程を教えないことによって、憲法の基本原理の軽視、「戦争する国づくり」に呼応した「戦争する人づくり」をすすめる育鵬社の教科書。

来年度から始まる「第2期四條畷市児童・生徒学力向上3ヶ年計画」では、様々

て「高い自己肯定感や、
グローバルな感覚をもち、
自己を確立し、他者とともに
に未来を切り拓く人間へと
形成していく・・・。」
ことをを目指すとしています。
はたして、この教科書で
グローバルな感覚をもつた
人格を形成することができ
るのかは、はなはだ疑問で
す。

国際的な常識 日露戦争は韓国 支配権争い

『ロシアの東アジアでの軍備増強をこのまま認めれば、わが国は存立の危機をむかえる』（歴史191ページ）と育鵬社版では、日露戦争も「自衛戦争」のよ

うに描いています。日露戦争は韓国支配をめぐる日露双方の植民地主義の争いであつたことは国際的な常識で、1910年に日本が韓国を併合した事実からも裏付けられています。

また、他社教科書では、与謝野晶子が「君死にたまふことなかれ」と反戦の声をあげたことが紹介されていますが、育鵬社版にはそうした反戦の声に関する記述がなく、国民は戦争に一致協力したかのように描かれ、戦争を美化しています。

を得ない者が出来ました」(帝國書院)と日本支配の実態を伝えているのに、育鵬社版は韓国併合後、耕地面積が増え米が増産されたこと、小学校が大幅に増設されたことをもって、日本が韓国近代化に貢献したかのように教えようとしています。

しかし、米が増産されたのは、米不足となつた日本へ送り出すためであり、小学校を増設したのは、日本語や日本の神話を学ばせ、韓国の子どもたちから自主的精神を奪つて天皇のためにくくす「皇民臣民」をつくるためでした。

「グローバルな
感覚」に反する
歴史教育

大阪は中国・韓国など東アジアの国々と歴史的に文化・経済・人的交流の盛んな地域です。東アジア諸国との友好は、特に大阪にとっては欠かせません。

歴史の真実を教えない教科書で、「グローバルな感覚」をもつて東アジア諸国との友好を推進する人材が育つとは考えられません。育鵬社版教科書は、四條畷の「学力向上3ヶ年計画」にも反し、即刻見直しすべきです。

A traditional Japanese-style illustration of a woman in a purple kimono holding a child. The woman has a purple headband and is holding a long staff or spear. The child is wearing a white kimono with a blue patterned sash.

なわて 新春のつどい

1月10日(日)
午前11時から
中野公民館で

參加費 = ¥500-
（
）
（
）

共催

政治革新の道しるべ、
眞実つたえ希望はこぶ

しんぶん赤旗

日刊●月 3497円
日曜版●月 823円

購読を希望される方は
岸田議員か、かんばら氏
まで申し込み下さい。

